



平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 M o n o t a R O
代 表 者 名 代表執行役社長 鈴木 雅哉
(コード番号：3064 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役管理部門長 甲田 哲也
電 話 番 号 (06) 4869-7190

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 1 月 29 日に公表しました平成 28 年 12 月期の通期連結業績予想を下記の通り修正致しますので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,076	9,300	9,295	6,051	49.03
今回修正予想 (B)	69,307	9,380	9,386	6,166	49.84
増減額 (B-A)	△1,768	79	90	115	—
増減率 (%)	△2.5%	0.9%	1.0%	1.9%	—
<ご参考>前期実績 (平成 27 年 12 月期)	57,563	7,087	7,120	4,439	36.04

(2) 業績予想修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間中の当社単体業績におきまして、新規顧客獲得数は順調に推移しましたが、既存顧客単価が当初計画の想定ほどには伸長しませんでした。当社では、第 4 四半期連結会計期間もこの傾向が継続するものと想定するため、当連結会計年度 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日) の売上高予想を下方修正致します。

一方、当連結会計年度 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日) の営業利益予想に関しましては、下半期に顧客基盤強化のためのプロモーションへの投資を増加させましたが、国内調達・輸入商品共に継続して仕入の改善に努め、また更には為替が当初計画よりも円高で推移した結果、輸入商品の仕入コストが減少したことにより、上方修正致します。

なお当社韓国子会社である NAVIMRO. Co., Ltd. につきましては、ほぼ計画通りの進捗となっております。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上